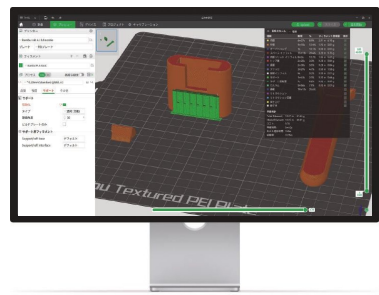


スライサーソフトと監視アプリ



Bambu Studio

Bambu Studioは、PrusaSlicerをベースにしたオープンソースのスライサーソフトです。3Dファイル形式はSTLやOBJだけでなく、3MFやSTEPなどにも対応しています。



Bambu Handy

Bambu Handyは、Bambu Labの3Dプリンタ向けに作られた、リモート監視と管理が可能になるモバイルアプリです。PlayストアまたはApp Storeからダウンロードできます。

BambuLab 3D プリンタ

	X1-Carbon	X1E	記載なきものは左に同じ
3Dプリント方式	FDM方式(熱溶解積層方式)		
加工エリア	256 x 256 x 256 mm		
対応フィラメント径	1.75 mm		
構造	フレーム:鋼 筐体:アルミ／ガラス		
本体サイズ	W389 x D389 x H457 mm		
本体重量	14.13 kg	16 kg	
ツールヘッド	全金属製、押出ギア／焼入銅ノズル		
ホットエンド温度	最高 300℃	最高 320℃	
ノズル径	標準:0.4 mm オプション:0.2 mm／0.6 mm／0.8 mm		
フィラメントカッター	あり		
ビルドプレート	Bambu テクスチャード PEI プレート		
プレート温度	最高 120℃ (110V)		
移動速度	最高 500mm/s (最高加速度 20000mm/s2)		
流量	最大 32mm3/s		
エアフィルタ	活性炭フィルタ	プレフィルタ-G3、HEPAフィルタ-H12、活性炭フィルタ	
対応フィラメント	PLA、PETG、TPU、ABS、ASA、PVA、PET、PA、PC Carbon / Glass Fiber Reinforced Polymer	PLA、PETG、TPU、ABS、ASA、PVA、PET、PA、PC Carbon / Glass Fiber Reinforced Polymer PPA-CF/GF、PPS、PPS-CF	
タッチパネル	5インチ (1280 x720)		
スライサーソフト	Bambu Studio		
モニタリングアプリ	Bambu Handy (エラー通知、状況管理、録画)		
対応OS	macOS10.15以上、Windows10以上 iOS 13.0以上、Android 6.0以上		
接続	Wi-Fi、Bambu-Bus	イーサネット、Wi-Fi (IEEE 802.11 b/g/n)、Bambu-Bus ※ イーサネット、Wi-Fiともに切り替えスイッチあり	
ストレージ	4GB EMMC、MicroSD		
電源	100-240VAC (50/60Hz)、350W@110V/1000W@220V	100-240VAC (50/60Hz)、750W@110V/1400W@220V	

※ 最大 32mm³/sはBambu ABSで280°Cで単相壁面をプリント時の流量です
※ X1-Carbon Combo、X1E Carbon Comboには、自動素材供給システムAMS (W368 x D283 x H224 mm, 2.5kg) が付属しています

発売元

株式会社マイクロボード・テクノロジー AFINIA事業部
〒103-0011
東京都中央区日本橋大伝馬町1-13 近源ビル 5F
TEL: 03-3561-2266 FAX: 03-3663-0115
メール: sales@microboards.co.jp



afinia.jp

お問い合わせ先

南九州向洋電機株式会社
〒880-0901
宮崎市東大淀2-3-44
TEL: 0985-54-6181 FAX: 0985-54-0459
メール: info@mkoyo.co.jp



Distributed by
AFINIA 3D



AI搭載で安定した3Dプリントを実現



X1-Carbon

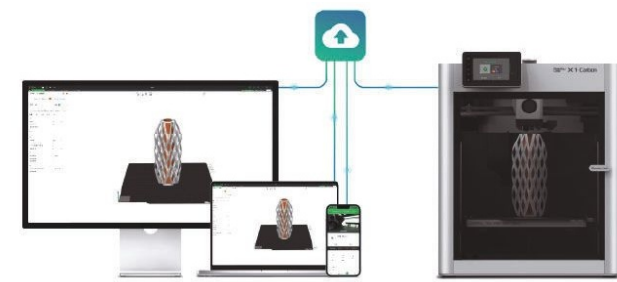
X1-Carbon Combo

X1E Combo

Bambu Labの各プリンタは、256 × 256 × 256mmの造形エリアを持つ熱溶解積層方式 (FDM方式) の3Dプリンタです。AI搭載により1層目やスパゲッティ状態の検知を行い、マイクロライダーによりミクロン精度で高さ測定、フォースセンサと共にノズル高さを調整します。エンジニアリング材料にも対応しています。

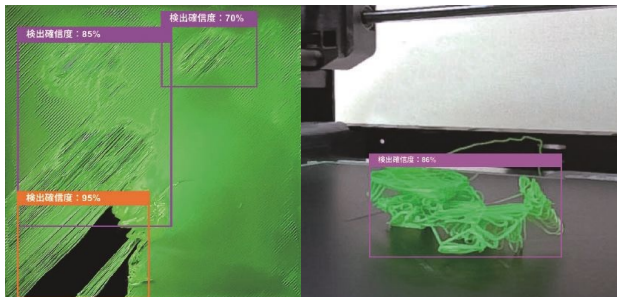
Comboには、自動素材供給システム AMS (Automatic Material System) が付属しています。X1E Comboは、有線LANや筐体温度制御などが機能拡張されたプロ向け3Dプリンタです。

共通仕様



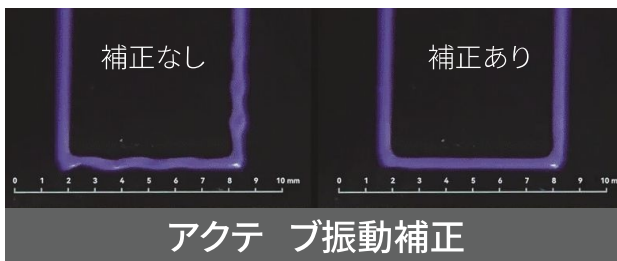
さまざまな方法でプリ

スライサーソフト Bambu Studio もしくはモバイルアプリ Bambu Handy を使ってWi-Fi経由でプリント、SDカードで本体に直接読み込んでプリントが可能です。



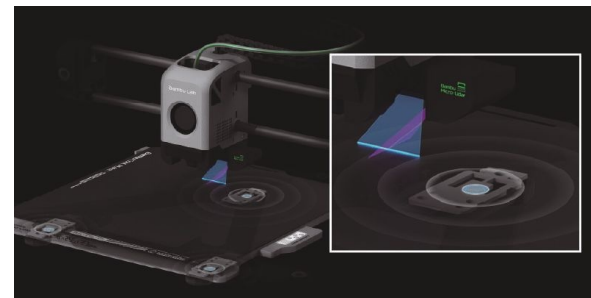
AIによるプリ 状態モニタリ

プリント状態異常をAIによって判断します。1層目がきちんとプリントされているか、プリントがスパゲッティ状態になっていないか検知します。



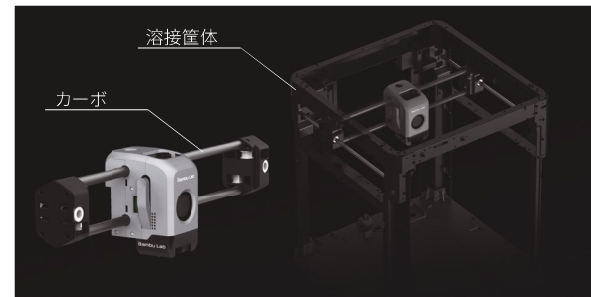
アクテ ブ振動補正

XY軸をアクティブ振動補正するため、プリントがズレず品質が一定に保たれます。



2つの独立した ベリ グ調整

LiDARとフォースセンサーがセンサーとアルゴリズムを用いてベッドに対するノズル高さを二重に測定することで、レベリング調整にさらなる冗長性を持たせています。



高速駆動のための設計

X軸に超軽量化したカーボンツールヘッド、XY軸にモーターと駆動軸を分離したCoreXY構造を採用、高速を実現しています。



HRC50 高硬度焼入鋼ノズル

120°Cホットベッド



X1E Combo のみの仕様

- ・有線LAN接続とWPA2-Enterprise認証付きの無線Wi-Fi接続
- ・60°Cまで対応の筐体内アクティブ温度制御
- ・320°Cまで対応のノズル温度
- ・強力な空気濾過システムを内蔵 (G3レベルのプリフィルタ、H12 HEPAフィルタ、活性炭フィルタの三重設計)

健全性管理システム HMS (Health Management System)



ドア開閉センサ

ドア開閉センサによりプリント中ドアが開いたらプリントを一時停止します (近日公開)

筐体内カメラ

カメラでプリント解析、ライブストリームやタイムラプスの作成もできます

筐体温度センサ

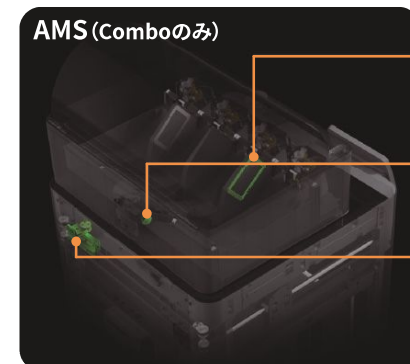
温度センサが筐体温度変化をモニタリング、冷却ファン制御により筐体内温度を均一に保ちます

フィラメント切れセンサ

長時間プリントでもフィラメント切れセンサがあるので心配ありません

閉回路冷却ファン

ヘッド冷却ファンはフィードバック制御で動作するため、温度設定は最適化されます



AMS (Comboのみ)

RFID

AMSのRFIDでフィラメントパラメータを自動読み、プリンタと同期します (純正スプールのみ)

フィラメントオドメーター

フィラメント使用量を計測し、ムダをなくします

ベルトテンションマネジメント

ベルトテンション異常を検知し、最適なパフォーマンスを維持します

自動素材供給システム AMS (Automatic Material System)



自動素材供給システム AMS (Automatic Material System) は、X1-Carbon Combo、X1E Comboに付属しているフィラメントの自動供給システムです。内部に設置した乾燥剤によりフィラメントを湿度から守り、防湿センサーでモニタリングします。フィラメント切れや絡みを検出し、自動的にフィラメントスプールを切り替えます。

Bambu Lab製フィラメントはRFIDが内蔵されているため、AMSによって置くだけで自動的に読み取られて最適なプリセットを適用します。AMSは、4つのフィラメントスロットで構成されており、最大4台AMSを並列に設置することが可能です。オプションのAMS hub経由で4台のAMSを接続すると、16色プリントできます。